旧岩永時計店

岩永家は 5 世代にわたり、小樽の商店街の中の堺町通りにある石造りの優雅な 2 階建ての建物で時計を販売していました。岩永時計店は 20 世紀初頭に創業しました。通りにある他の建物の中でもその凝った装飾と 2 階の大きなバルコニーが際立っています。 20 世紀初頭の写真にはこのバルコニーが店で雇われているブラスバンドによる定期的な演奏のステージとして使用されていたことが示されています。このバンドは客を呼び込むためか印象的な赤と白のユニフォームを着て演奏していました。

20 世紀初頭に小樽に建てられた多くの倉庫や店舗と同様、岩永時計店も木の骨組みに火山石を被せて建てられました。しかし、江戸時代（1603 年-1867 年）の商家とヨーロッパの建築の両方から取り入れられたデザイン要素が、豊かな雰囲気を与えています。一対の陶器製の伝説の海の生き物（シャチホコ）像が各建物の屋根に飾られています。このモチーフは城でよく見られ、火災から守ると信じられ、富の象徴でした。 2 階の装飾的な石積みを備えたアーチ型のフランス風扉と様式化された葉で覆われた石の柱は 1890 年代にヨーロッパとアメリカで流行したルネッサンス リバイバル様式の典型です。

小樽オルゴール堂堺町店は現在敷地外で営業していますが、岩永家は数ブロック離れた都通りで今も時計や宝石を販売するビジネスを営んでいます。